



正面玄関付近

百年の待ち人

秋田県立図書館長 高橋 貢

「百年はもう来ていたんだな」、これは、夏目漱石「夢十夜」の第一夜の末尾、死んだ女を百年待っていた男がつぶやく台詞である。最近、この言葉を彷彿とさせるような出来事が当館で幾つかあった。それは同時に、我々に「本の命」ということを考えさせる好事例でもあったように思う。

一つ目は、秋田県立大学高橋秀晴教授の御訪問である。先生は現在、秋田魁新報社に「望嶽楼の夢・滝田樗陰と近代文学者」という題の連載を執筆されている。本県出身で、『中央公論』の名編集長でありかつ当時の文壇ジャーナリズムの中心的存在であった樗陰を中心に、周辺の人物の魅力を余す所なく活写している。当館には、明治以降の『中央公論』がすべて揃っているが、それはおそらく百年間書庫に眠っていたままであった。それが、今回の研究資料に使われることによって魂を吹き込まれ、百年目にして命が蘇ったのである。これらの本は、自分が必要とする人が現れるのをじっと待っていたことであろう。更に感傷的な表現をすれば、この雑誌は、高橋教授に出会うためだけに薄暗い書庫で百年待っていたとも言える。そこには、一種のロマンを感じる。本は、単なる物ではない。

もう一つは、美郷町にある熊野神社宮司熊谷曉氏の御来館である。元高等学校長であった先生は、御退職後に千二百年以上続く自社の蔵書を一年以上かかって整理され、リストをお作りになって御来館されたのであった。五百冊を超える江戸・明治の和書をはじめ、明治初期の教育関係書籍や医学関係の稀覯本等、優れた価値を有する本が多数ある。もし御寄贈ということになれば、おそらく「熊谷文庫」としての保存も検討することになるであろう。熊谷氏によって、黙っていれば朽ちてしまう本が命を吹き返したのである。今はその本を必要とする人がいなくても、いずれ、百年後には研究する人が出てくるかもしれない。

我々は、日常の多くの図書館サービス業務に尽力するとともに、百年単位の目を持って図書資料の保存に取り組まなければならないということを、改めて感じさせてくれた出来事でもあった。やはり、本にはロマンがある。

市町村図書館や公民館図書室の取組

県立図書館では職員が市町村図書館や公民館図書室に直接出向き、運営上の相談に応じたり、一緒に改善に取り組んだりしています。今年度も、県北、県央、県南各地区専任の担当職員が訪問し、継続的に支援をしています。今回は、職員が訪問した図書館等を一館ずつ紹介します。

県北地区

八峰町文化交流センター図書館

五能線と並行して秋田～青森を結ぶ国道 101号線から日本海側へ少し下ったところに八峰町文化交流センター「ファガス」があります。メインの図書室は1階にあり、ガラス張りの開放的な室内には子どもから大人まで楽しめるよう、様々な資料が取りそろえられています。

以前は利用する人が少なかったとのことですが、平成21年度にそれまで2階にあった図書室を1階に移すなど、大きな改善を行いました。その後も図書展示や配置の工夫等に細やかに気を配り、現在では、峰浜地区の峰栄館図書室と合わせると、県内の公民館図書室でトップクラスの利用実績を上げるまでになっています。地区内の郵便局への「おとどけ文庫」の配本も軌道に乗り、こちらも地区住民に楽しみにされているそうです。



八峰町文化交流センター「ファガス」の図書室は、展示や配置の工夫に気を配っています。



湯上市図書館の「花と緑」のコーナー！手作りで、看板は職員の

県央地区

湯上市図書館

国道 101号線船川街道から入った二田駅近くの住宅街の中に湯上市図書館があります。開館から30年が経ちますが、閲覧室からの外の眺めも良く、居心地の良い図書館です。

昨年度から学校貸出「k a t a t o事業」を開始し、幼稚園・保育園から小・中学校までが利用しているそうです。図書館では、市内の学校に配置されている学校図書館サポーターと共にセット資料を選書するなど、学校と連携しながら事業を進めています。

館内では、季節や話題のテーマに関する展示が随所に見られ、絵本コーナーには保護者向けの子育てに関する本が置いてあります。来館者に使いやすい空間作りを心がけている図書館です。

県南地区

大仙市立神岡図書館

国道13号線沿い、嶽雄館の中にある大仙市立神岡図書館は、屋内多目的施設の「嶽ドーム」やテニスコート等のスポーツ施設に囲まれ、温泉施設「嶽の湯」にも隣接しています。

館内にある季節に応じたテーマ展示は、手作りのポスターやポップで彩られ、本を選ぶ利用者の目を楽しませてくれます。そして、窓から見える田園風景はとても美しく、ゆったりとした気分で本を読むことができます。



神岡図書館は、閲覧室からの眺めが格別です。

神岡図書館では昨年度から、地域のケアハウスへ本の貸出や絵本の読み聞かせを始めました。月に1回、大活字本や俳句・写真など趣味の本を貸出・配達し、図書館職員が絵本の読み聞かせも行っています。毎月楽しみにしている方もいるそうです。温かい雰囲気の中で地域の方々を迎えとともに、地域とのつながりを大切にしている図書館です。

Topics

～県立図書館で開催したイベントや催し物などの紹介～

当館所蔵「根本通明文庫」 秋田県指定有形文化財に指定

根本通明（ねもと・つうめい、1822～1906）は出羽国刈和野村（現大仙市刈和野）出身で、藩校明德館で学長を務めた後に東京帝国大学教授となり、秋田県人として初めて文学博士の称号を得た人物です。

当館は通明遺愛の蔵書約2,500冊を1907年（明治40年）に一千円で購入しました。室町時代後期の古写本『論語』や江戸時代初期の古活字本『文選』等、書誌学的に貴重な資料が多く含まれていることが評価され、2014年（平成26年）3月、冊子本2,532冊、折本13帖が「根本通明文庫」として秋田県指定有形文化財（書跡・典籍）に指定されました。時代による漢文訓読の変化や印刷文化史を知るうえで貴重な資料群です。



秋田県指定有形文化財に
指定された「根本通明文庫」に
含まれる室町時代
後期の古写本『論語』

職場体験や施設見学 小・中学生が図書館の仕事を体験



市町村図書館から返却
された図書を書架に返
本するための確認作業
を行う中学生

今年も県内各地から小・中学生が当館を訪れ、職場体験や施設見学などを行っています。7月4日までに中学校11校、小学校1校から延べ75人の児童生徒を受け入れました。

5月21日（水）から23日（金）までの三日間、秋田市立外旭川中学校の二年生2人が職場体験を行いました。初日は当館の歴史や役割についての説明を受け館内を見学した後、カウンターでの図書の貸出返却業務を行い、午後は「子ども読書支援センター」の絵本の紹介ポスターを作成しました。二日目からは、カウンター業務に加え、閲覧室の書架整理、資料整理室での受入カードの整理、書庫での市町村図書館への貸出準備作業を体験しました。利用者や職員と話をしたり、効率よく正確に仕事を進めるためのシステムを学び、「楽しかった」と感想文を寄せてくれました。

図書館の活性化に向けて 秋田県図書館大会開催

6月13日（金）、平成26年度（第38回）秋田県図書館大会が県庁第二庁舎で開催されました。県内の市町村図書館や公民館図書室、学校図書館の関係者約100人が集まり、「図書館が変わるー秋田の図書館活性化に向けてー」をテーマに、講演と事例発表が行われました。

始めは、前塩尻市立図書館長で、現在は常磐大学などで非常勤講師を務めておられる内野安彦氏による基調講演でした。「公立図書館の課題と展望ー塩尻市立図書館の取り組みから」のテーマで、塩尻市立図書館が、地域住民に期待される図書館となるために行った様々な取組や



内野安彦氏による基調講演



今回は、県庁第二庁舎8階の
大会議室で行いました。

図書館に必要なブランディング等についてのお話をいただきました。

続いて、羽後町立図書館から「子ども司書養成講座」について、大館市立図書館から「指定管理者制度の導入」について、そして岩手県紫波町図書館から「農業支援サービス」についての事例発表がなされました。

いずれも、今求められているサービスや運営形態に関する内容で、今後の秋田の図書館活性化について考える貴重な機会となりました。

News ～県立図書館からの最新情報～

国立国会図書館デジタルコレクション 閲覧サービス開始

国立国会図書館がデジタル化した図書や雑誌のうち、現在絶版等で入手できない約131万点の資料が、6月9日（月）から当館でも閲覧できるようになりました。

閲覧室のレファレンスカウンターにある専用パソコンで御覧いただきます。利用申込書に「図書利用カード」を添えてカウンターにお申込みください。



国立国会図書館デジタルコレクションの画面

資料保存と修理のポイント(3)

「いざ、修理！～やさしく、急がず、楽しんで～」

修理本を前に、まず本のカタチをじっくり観察しましょう。糸綴じか無線綴じか、紙はツルツルかザラザラか、背の形状はどうなっているか。破損の状況と合わせ修理方針を立てます。大事なものは、機能回復（＝読めること）を第一に考えた最小限の修理をすること。和紙とでんぷん糊を使って“柔らかく”仕上げるのが理想ですが、糊の種類、濃さ、量は壊れ具合や紙質を考えて調

和紙と糊を使って修理しています。



整します。糊付けをしたら、乾くまでじっくり押さえましょう。重石などがあればなおよいです。合言葉は「一度に一箇所、一工程、急がない！」次のページも糊付けしちやいたい気持ちをぐっとこらえて……。そう、修理とは時間がかかるものなのです。

Event ～イベント・催し物のお知らせ～

■子育て応援団すこやかあきた2014

【日時】

7月26日（土）

27日（日）

午前9時30分

から午後4時まで

【会場】

県立武道館

【内容】

県立図書館ブースの出版

ボランティアによる読み聞かせ、大型絵本の展示



『すこやかあきた2013』の
県立図書館ブースの様子

■プロムナードコンサート「ソプラノ独唱」

【日時】

7月31日（木） 正午から午後0時40分まで

【会場】

秋田県立図書館エントランスホール

【演奏】

ソプラノ：三沢由美子 ピアノ：工藤 啓

■読書のつどい2014秋

【日時】

10月25日（土）

午前10時から午後3時30分まで

【会場】

秋田テルサ

【内容】

大型絵本、しかけ絵本の展示

これからの休館日 8月6日（水）

9月3日（水）

10月1日（水）

11月5日（水）

※図書、雑誌の返却はブックポストを御利用ください。